

6月号

ニュースレター

あすか

通算267号

ASUKA

2015年6月10日

この夏、しゅりあちょーくが変わります



9月より祝日営業スタート

- ❖ 今までまやるちょーくの祝日のデイサービスをご利用の方はしゅりあちょーくをご利用いただけます。(しゅりあちょーくとの別途契約が必要です)
- ❖ 祝日の職員体制は、あすか全体で対応しますので、職員とのなじみの関係を継続することができます。
- ❖ 食事は身体状況に合わせてきめ細かく対応します。夕食サービス(お弁当の持ち帰り)も対応しています。



7月1日(水)レッドコード導入

- ❖ 文字通り、天井から吊るされた『赤いヒモ』を使って機能訓練をおこないます。
- ❖ 練習場面での成功体験を繰り返し、不安や恐怖を取り除き、日常生活での困難を解決します。
- ❖ 現在行っている個別機能訓練、安全で反動の少ないリハビリマシンによる訓練に加えて、レッドコードによる日常生活動作訓練が加わります。



医療法人あすかの経営理念 『感謝 尊厳 謙虚 誇り』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。

【目次】

1. この夏、しゅりあちょーくが変わります..... 1
2. 第15回 あすか研修会の報告..... 2
3. 丸屋先生を偲んで..... 3
4. わたしの好きなもの 第16回
5. 事業所だより(野ばら、みどりい、ショート大町)..... 4
- 事業所だより(つどいの家)..... 5
6. 作品紹介(しゅりあ)
7. おもしろきかな我が人生 ～横田ハルエさん～..... 6
8. hello,フレッシュマン 1 7
9. すまいる活動記..... 8



第15回あすか研修会

テーマ「学ぶ・動く・考える」

多職種のチームの力でレベルアップ

平成27年5月31日(日)
西區民文化センターにて

法人内研修として最大の研修会「あすか研修会」も今年で15回目、140名近くの参加者が一同に集まり、日頃の取組みを発表、また、更なるスキルアップにつながる分科会での研修を行いました。

今年のテーマは「学ぶ・動く・考える」学びの場を得ながらも果たしてしっかりと実践に結びついているのだろうか。学んだからには実践。実践することで再度考え、一つ二つ上を目指していけるのではないかという思いの元、このテーマに決定しました。

当法は17の事業所から成り立っています。職種を超え、互いの仕事を理解、支え、助け合うことで利用者様の生活を安心、そして幸せへと導けるように取り組んでいます。

午前中は、分科会として、介護事業所では「食事中における緊急時の対応・口腔体操」と「能力障害における生活リハビリ」、「あすか版介助スケール」医療事業所においては、「感覚統合を体験する・活用する」について行いました。

どちらの分科会においても職員

の熱気を感じるものでした。特に、「あすか版介助スケール」においては、前回より取り組んでいました【共通言語】を改め、【あすか版介助スケール】とし、アセスメントしやすく、介助法もわかりやすく表現したことにより、以前に比べ大変わかりやすく理解できるようになったとの感想を得ました。この場で学んだ事により、これから先はいかに現場で実践し、浸透していくか。【学び、動き、考える】テーマに沿った取り組みとなるものと思われました。

午後からは12事業所によるポスター発表と今年より、新たに参加となったケアプラザ大町での4事業所からの報告、6事業所からのスタジオ発表を行いました。

1年間の取り組みにより達成感を得ることができ、さらに新たな目標が芽生えたのではないでしようか。私たちは、止まることなく日々前進。他事業所との交流により触発されたのではないかと思います。研修会となりました。

(教育委員長 森元智代)

医療事業所・分科会

介護事業所・分科会

2枚重ねの軍手で折り紙をつかむ感覚の体験



のどに詰まったものを吐き出させるハイムリック法のレクチャー



きめ細かく泡立てられた泡の中のクリップを取り出します



細かく切ったストローの中に何が入っているか、手の感覚だけで当てます



ハイムリック法を実践してみました



丸屋博先生を偲んで

高橋 真弓(副院長)

1月18日共立病院名誉院長の丸屋博先生がお亡くなりになりました。4月19日(日)国際会議場でおこなわれた『丸屋博先生を偲ぶ会』に参加しました。偲ぶ会の参加者の文集に寄稿した拙文をそのまま掲載いたします。

丸屋博先生と私と「まやるちよーく」

昨年12月、私のところの通所リハビリテーション「すてつ」の管理者から、「今度、共立病院の院長をされていた丸屋先生が利用されることになりました」との連絡を受けた。ご利用当日の午後、ご挨拶にうかがったら「さつき、お帰りになされました」とすれちがってしまっただ。次にいらしたら教えてね」と伝えておいたのに丸屋先生はたった1日だけのご利用でその2日後に共立病院に入院、ふたたび「すてつ」に戻ってきてはくたさならなかった。

丸屋先生と出会ったのは、夫の留学で2年余りのアメリカ滞在から帰国した昭和56年の5月で、今から30年以上前になる。当時、共立病院には小児科の常勤医がいなくて私のような新米医師でもとても歓迎してくださった。卓越した表現者として数多くの優れた作品を残された詩人として、被爆者の支援活動に情熱を傾けた社会活動家として大きな足跡を残された先生だが、私は病院内で出会う先生しか知らない。今思うと、病院長という重責を担い日々さまざまな苦勞があったに違いないのに私の記憶にはいつも穏やかで優しく飄々としたお姿しか残っていない。そして、先生は患者さんから圧倒的な信頼を得ていた。丸屋先生の診察の日には先生に診てもらいたい患者さんが待ち合ひにあふれていた。

2年半の共立病院勤務のあと、丸屋先生との再会は、夫と2人でやっていた内科小児科のク

リニックに「老人デイケアまやるちよーく」を開設した時だった。「まやるちよーく」はネパール語で「愛の広場」という意味である。ネパールのシタール奏者で当時東京芸術大学教授のシマ・オマタさんがつけてくれた。

ささやかなオープンングパーティの席で丸屋先生は「高橋先生お二人の夢に敬意を表します」とたいそう褒めてくださった。

その後はお目にかかるチャンスはほとんどなかったが、「まやるちよーく通信」から「あすか通信」に名前が変わった私どもの月刊のニューズレターの感想をつい最近まで葉書に書いて送ってくださった。私たちのことをいつも心にかけて応援してくださっていたのだとつくづく思う。

昨年11月、夫から「丸屋先生がうちの通所リハビリを利用したいと連絡があったよ」と聞いてびびりした。「なんで?」

ちよつと動いたらすぐに息切れしてしまう身体で私たちのところに来てくださった。21年前の私たちの夢を最後の最後に確かめて来てくださったのかも知れない。たった1日だったけど、「すてつ」の職員に、「こはボクに合ってるみたい」とおっしゃって、私たちの心に「まやるちよーく」愛の広場を残して逝ってしまった。



わたしの好きなもの

第十六回



通所リハビリテーション 野の花

おおた えつこ

大田 悦子さん

【元祖!!カープ女子!】

カープのデーゲーム中継を食い入るように観て、「カープが好きなよ」と話される大田さんに密着!

カープを好きになったのは、何かきっかけがあったのですか?

「元々は父が野球好きでね。朝から晩まで『六大学野球』をラジオで聞いていた父の隣に居たら野球を覚えて、それで大好きになっただけね。」

1950年、高校に入るところだったかね、私が広島に来たときに丁度『カープ』ができてね。パ・リーグからカープに来た小鶴もよう打ちよったけ好きじゃったし、このころからカープが好きになったんよ。

試合は、観音に球場があったころから行っていたね。私が野球好きなのを知っていて、父の会社の専務がよく試合に連れて行ってくれたんよ。

市民球場が出来た時から、ナイターゲームが始まってね。見



小鶴選手

に行った試合は全部、ノートに選手の打率を書きよったんよ。

カープが優勝した1984年(昭和59年)の試合も見に行っただんよ!すごかったよ!!!

昨年マツダスタジアムに行ったら応援したよ。

カープは負けることも多いけど、負けても負けても一生懸命だから好きなんよ!だから、負けてもやっぱり応援したいんよね」

最後に、カープに一言!

「死ぬまでにもう一度、優勝して欲しい!頑張ってください!」

いつの時代もカープとともに歩まれた大田さん。最近「カープ女子」と賑やかになっていますが、『元祖!カープ女子』と言えば、大田さんしか居ないですね!今年は、カープ優勝!!して欲しいですね!!頑張れ、カープ! (渡邊 幸代)

シヤクナゲを見に行きました!

5月8日(金)

野ばら



晴天のもと、花みどり公園に出かけました。到着後、貸し切りで休憩所をお借りして、ゆったりと美味しいお弁当をいただきました。

園内に入ると、たくさんさんのビオラが迎えてくれました。奥へ進んで行くと、赤・桃・紫色のシヤクナゲの花道が続きます。「わぁーきれい! すごいねー!」と、シヤクナゲの下でうつとり見とれてしまいました。少し歩くと藤棚があり、藤棚の下でまったりとお茶を飲んでみると、目の前の新緑の山に吸い込まれそうです。「ええ気持ちじゃねー。空気がおいしいね」と、利用者様の感嘆の声が山々にこだまするようでした。今年の花みどり公園でのシヤクナゲ見物は、自然を満喫できたとても楽しい1日でした。

これからも野ばらでは、利用者様の五感を存分に発揮していただけるようなイベントを企画していきます。(小田 香代子)



きれいなねえ〜☆



見事に満開♪



笑顔が満開◎

こいのぼり作り

5月7日(木)

シヨートみどりい



5月7日はシヨートステイみどりの「こどもの日」でした。利用者様と一緒にこいのぼりを作りました。

まずはこいのぼりのベースの色選びからです。「あの色がいい」「この色がいい」とひとしきり悩んだのち、いよいよ本番開始!

ベースの画用紙を丸めてテープで留めたら、こいのぼりの体のできあがり。

次に目を付け、それから色々な色紙や千代紙からうろこ用の紙を選んでいきます。「どの色がいいかね?」「これとこれの組み合わせがいいかね?」と近くに座っておられる方や、スタッフと話をしながらそれぞれ好きな色を選ばれ、貼っていききました。あつという間に予定時間が過ぎてしまいうくらいい皆さん集中して取り組まれ、それぞれのセンスが光ったこいのぼりができあがりました。

その後は、「あんなのもいいねえ」「あら、派手なのになったねえ」と皆さん笑顔で見せ合い、おおいに盛り上がりしました!

最後は皆さんと一緒に「こいのぼり」を歌い、ニコニコ笑顔でのお開きとなりました。(志水 達彦)



どんなこいのぼりにしようかね!?



かわいいのができたよ!

母の日は焼きそば大会!!

5月10日(日)

シヨート大町

シヨート大町の母の日のイベントは焼きそば大会でした。全ての女性利用者様にスタッフが心を込めて書いた色紙をプレゼントしました。

そして、男性利用者様からのプレゼントは「焼きそば!」今まで家族の食事を長年作り続けた「お母さん」「お父さん」からの贈り物です。慣れない手つきで一生懸命つくりました。もちろんお味はグッド!でした。「ありがたい、美味しいね」と満面の笑顔の「お母さん」を見て「お父さん」はちよつと照れくさそうでした。

(荒蒔 伸治)



お母さんたちのために一生懸命☆



うまい焼きそば作っちゃうけえのお!



心を込めて書きました



職員より「いつもありがとう」

新緑ドライブ

5月13日(水)・14日(木)

バラ園へドライブ＆ランチ



若葉の緑もすがすがしい季節となりました。つどいの家では毎年恒例、新緑ドライブと題し、牛田にあるバラ園へと2日間にわたり出かけました。

1日目は五月晴れの明るい青空に恵まれ、とても気持ちの良い日でした。バラ園に到着すると、中井さんは「まあ嬉しい。まあ可愛い」と手をたたきながら喜んでみておられました。

日頃はカメラを向けると「撮りんさんなつ」と恥ずかしそうに顔を隠される米田さんも、真つ赤なバラを見て「これが一番きれいなねつ。ちよつとこゝで写真撮つて」とご自分から言われるほど、見事に咲いていました。みなさん声をそろえて「ちようど見ごろじゃね! 今日来てよかったね」と言われ、とても満足された様子でした。

2日目は雨に雷にと、昨日とは全く違う天気。しかし、バラ園は車でも周りを移動できるので、足を運びました。ところが、到着するとさっきまでの雨がウソみたいに止み、園内を散策することができました。バラの花が雨にぬれ、これもまた素敵で、竹安さんも「私は去年来た時も雨だったんですよ。でも見事に咲いとるね。来て良かった」と満面の笑み!

坪井さん・西岡さん・重森さんはバラの前で写真を撮ると「私たちを撮ってくれるの? バラよりきれいに撮つてよ!」と! バラに負けない素敵な笑顔の写りが撮れました。

バラ園をあとにし、西原にある木々路庵へ。久しぶりの外でのランチは格別に美味しく、「お昼からこんなに食べたら、夜はいらんね」と周りを笑いに变えてくれた樋口さん。利用者様の緊張もほぐれ、「美味しいね」。息子には内緒よ!」と言いながらみなさん完食されました。

(向井 明子)



バラに負けてないでしょ!?



バラのトンネルー!!



わたしたち、バラっ娘3姉妹♪

作品介绍

しゅりあちょーく



ちぎり絵

集中して作業される梅田さん
こんなにきれいなちぎり絵作品が
できあがりました



3月からちぎり絵のプログラムに参加され、こつこつと作品を作り上げた梅田昭子さん。
細かく緻密な作業に苦戦しながらも、作品が出来上がっていくのが楽しいといつも話してくれます。
これからも素敵な作品を期待しています!



梅田 昭子様



梅田 昭子様



毘沙門クリニック



おもしろきかな我が人生

よこた
横田 ハルエさん



昭和10年5月20日生まれ(80歳)

* 趣味・・・運動

* 好きな食べ物・・・じゃがいも、かぼちゃ、ブラックコーヒー



【家のじいちゃんも頃のじいちゃん】

私の生まれは大朝町の方で新庄の岩戸という所なんよ(現・北広島町)。五人兄弟の五番目で兄が三人と姉が一人おったね。子どもの頃はみんなに可愛がってもらったね。家は農家だったんだけど、私は女の子だったから畑仕事とかはしてないんよ。畑は兄たちが手伝ったね。

父は躰が厳しかったんよ。「茶の飲み方が悪い」「食べ方が悪い」言うてね。子どもの頃は、「くそジジイが」って思ってたわ(笑)。でもね、大人になって詫びた「ありがとう」ってね。父は私が結婚するとき、ものすごく嫌そうな顔をしてそっぽ向いてたことを覚えてるんよ。

子どもの頃は近所に子どもが多かったけえ、一緒にままごとをしたり山で遊んだりしってたね。あと、バレーボールをしようって、子ども頃からずーっとしよって、とても好きだったね。学校が近かったのもよかったのかも。この頃は、嫌だったことはひとつもないね。

【学生時代】

新庄学園に通わせてもらうとって、高校野球の声援に行つて校歌を歌ったりしたこともあった。すごく楽しかったんよ。今でも高校野球を見るのが好きで、新庄高校が出たらうれしんよ。

今は、あの時もつと勉強しとけばよかったって思うんよ。先生に「本気で勉強してみいや」って言われたことがあってね。そんな時は文句言いよったわいね。勉強嫌いなんじやもん」言うてね。適当についていければいいやと思うとったんよ。でも、やっぱり勉強せんといいけんときは必死にしたいだけだね。

【社会人になって】

放射線技師をしようたんよ。大変だった

けど楽しかったんよ。あの頃は放射線技師じゃなくてレントゲン技師って言いよったね。この頃がいちばん自分が輝いてたね。放射線技師っていうのはレントゲン写真を撮る仕事でね、通信病院に勤めて頑張ったよ。結婚するまでずっと続けとったんよ。

レントゲン技師をしとった時は、一回できつちり写真を撮らんといいんと思つて頑張つとったね。それが、先生の仕事をしやすくなることだと思つとったけんね。患者さんの体も大切にせんといいけんね。レントゲン写真は何回も撮り直すわけにはいかんのんよ。

【最近のじいちゃん】

今は不足なく毎日楽しく過ごさせてもらつとるよ。しんどい時もあるけど、ここまで生かしてもらつてきました。育てくれた親、会いに来てくれる家族、職員のみなさんに感謝していますよ。



お誕生日の1枚



楽しいクリスマス会でした♪

体操やレクリエーションに積極的でいつも元気な横田さん、これからもお変わりなく健やかに矍鑠とお過ごしください。(林 健太郎)

あすかのホームページが
リニューアルしました★

この度、医療法人あすかのホームページがリニューアルしました。ブルーと白を基調としたデザインでとても爽やかな仕上がりになっています。

これから、今まで以上にわかりやすく情報発信をしていきますので、みなさんは是非ご活用ください。

医療法人あすか

検索



医療法人あすか
Medical Corporation ASUKA

お知らせ

お問い合わせ(事務局) 082-879-3143

トップページ TOP PAGE	私たちについて ABOUT US	事業内容 BUSINESS CONTENT	施設紹介 FACILITY	求人情報 JOB VACANT	アクセス ACCESS
--------------------	---------------------	--------------------------	------------------	--------------------	----------------

高橋内科小児科医院 外来事務



たなか りお
田中莉央さん

やまもと ゆい
山本優衣さん

hello, フレッシュマン

シーズン2

1

新入職員紹介のコーナー

今年、医療法人あすかには20名の職員が仲間入りしました。今月から新連載、『hello,フレッシュマン シーズン2』トップバッターは病院の顔・外来事務の2人です。みなさま、外来にお立ち寄りの際は、この子たちの笑顔を見て癒されて帰ってくださいね*



*この仕事に就こうと思ったきっかけは？

田中：高校生の時に入院したのをきっかけに病院で働きたいと思うようになりました。不安な気持ちを消してくれたのが医療スタッフさんの笑顔でした。いつかわたしも医療に携わりたいと思い「病院の顔」と言われる「医療事務員」になり、患者様を笑顔で元氣付けたいと思ったのがきっかけです。

山本：医療系の仕事、人と接する仕事に就きたいと思っていました。母も医療事務の仕事をしていたので、少し憧れがあつてこの仕事に就きました。あすかを選んだきっかけは、小児科のある病院に就きたかったのと、学校の先生に紹介されたからです。(良い病院があるよ！どう？みたいな感じです)

*自分の事業所自慢をしてください

田中：毎日笑顔があふれている明るい場所です。やさしい先輩方ばかりで、他の事業所の方も気さくに声をかけてくださるので、毎日「ここに就職できてよかった」と感じます。

*夢は何ですか？

山本：人に頼りにされる人材になりたいです。ひとり暮らしをしているので、まずは料理ができる女性になり、早く結婚したいです。

*特技は何ですか？

田中：神楽をやっていたので篠笛が吹けます。保育園の頃からやっているスキも得意です。山本：笑うツボが人よりも浅いこと。笑うことで嫌な事も忘れるくらい元氣になります。あと、身長が高いので高い所のものを取るのは任せてください！脚立や踏み台は不要です！

*自己アピールをしてください

田中：とにかくがむしやに！やる気だけは



4月・入社式での初々しい1枚

先輩からのひとこと

「でっかい子とキラキラした子が事務に入ってきた！」これが2人に対する正直な第一印象です。

山本さんはしつかりメモをとり丁寧に仕事をこなしてくれ、田中さんは失敗を恐れず積極的にいろいろなことに挑戦してくれて、こうして一緒に働いていることをうれしく思います。いろいろな事を吸収しようという意欲の高い2人は、いつも笑顔で患者様の対応をしてくれて、今や外来のアイドルです。

高校時代に聞いていた歌、子どもの頃にはやった遊び等にジェネレーションギャップを感じつつも、楽しくそして正確な仕事を一緒にこなしていきたいですね。

(実兼 麻美)

誰にも負けないように毎日必死にお仕事を頑張っています！どんな大変な時でも「笑顔」で乗り切る力を持っています。これから先輩方の背中を見ながら成長していきたいと思っています。

山本：やると決めた事は必ずやり遂げるのがわたしのモットーで、いつも明るく笑顔を忘れず、先輩方の背中を追いかけながら日々成長していけたらと思います。



憧れの仕事…頑張っています!!



受付業務も様になってきましたね◎



笑顔で元氣付きたい!!を心がけています

◆ショートステイみどりいでボランティア活動をしてくださっている桑升さんを紹介いたします。



いつも同じ目線で優しくお話してくれます

◆桑升さんは、1年前からショートステイみどりいに来てくださっています。利用者様の隣に座り、時々手をさすったりしながら会話を楽しまれています。ゆったりと温かい空気の中で時間が過ぎていきます。グループ体操にも一緒に参加されます。



みなさんと一緒に体を動かします！



ボランティアグループ



◆ボランティアの定例会でこんなお話をしてくださいます。

「利用者の方が、娘さんとの面会をととても喜んでおられる様子を見て、親は子どもがいちばん。親子の絆を強く感じました」「私の失敗談を話すと、いつも利用者様からアドバイスをもらいます」

と、利用者様との肌のぬくもりをいつも感じながらボランティア活動を続けてくださっています。今では桑升さんの来訪を心待ちにされている利用者様がたくさんいらっしゃいます。(増村 祐子)



桑升さんが来られると笑顔になります☆

“ニューズレターあすか”は当法人のホームページ上でも見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>



医療法人あすか

Mail: asuka@smail.plala.or.jp

住所: 〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL: 082-879-3143

FAX: 082-879-3190

(編集: 新宅 佳那子)

【編集者のつぶやき】

はじまりました！フレッシュマン紹介のコーナー◎まず始めは我が事業所から娘たち2人を紹介いたしました。2人とも明るく元気で、いつも笑顔いっぱい。高齢化が進む外来事務に若くて新しい風を運んできてくれました。みなさんぜひ受付のアイドルたちに会いに来てくださいね！いつでも笑顔をお届けします☆

あすかケアプラザ 中須1丁目26・12

ヘルパーステーション あすか大町
デイサービスセンター あすか大町
ショートステイ あすか大町
サービス付き高齢者向け住宅 レジデンスあすか
あおぞら保育園

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

昆沙門クリニック
ショートステイ いわや
通所リハビリテーション 野の花

緑井2丁目12・25

高橋内科小児科医院
デイサービスセンター まやるちよく
通所リハビリテーション すてつ
ショートステイ みどりい
小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

緑井3丁目10・28

児童デイサービス ぱるびしやもん

緑井3丁目20・1

あすか居宅介護支援事業所

082-830-5177

リハビリデイ・ポシフルみどりい
あすか病児保育室
児童デイサービス ぱるみどりい

医療法人あすかの関連施設